

決算の状況

I 決算概況

- (1) 平成 27 年度一般会計の決算内容についてみると、歳入決算額は 3 兆 1,955 億円で、繰入金及び府債が減少したものの、府税が増加したこと等により、2,140 億円、率にして 7.18%増加している。
- (2) 一方、歳出決算額は 3 兆 1,831 億円で、人件費及び貸付金支出が減少したものの、公債費及び補助費等が増加したこと等により、2,147 億円、率にして 7.23%増加している。
- (3) 形式収支は、124 億円の黒字を計上し、10 年連続の黒字となった。形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も、54 億円の黒字となり、前年度に比べ、15 億円増加している。
- (4) 一般会計と特別会計(Ⅱ 3 特別会計 参照)の額を合算したもののから地方公営企業会計に係る収支を除いた普通会計ベースでの実質収支は、91 億円となっており、前年度に引き続き赤字を回避している。財政構造の弾力性を示す指標である経常収支比率は、27 年度は、府税収入が増加したものの、地方消費税の増加に伴う地方消費税市町村交付金の増加や、社会保障関係経費等の増加により補助費等が増加したため、前年度より 0.1 ポイント低下し、99.8%となった。

平成26年度及び平成27年度一般会計決算

(単位:億円)

		27年度	26年度	差引
予 算 現 額		32,412	30,338	2,075
歳 入 決 算 額 A		31,955	29,815	2,140
主	府 税	14,276	12,021	2,254
	法 人 二 税	3,689	3,292	397
な	地 方 消 費 税	5,074	3,346	1,728
	地 方 譲 与 税	1,582	1,745	△ 163
科	地 方 特 例 交 付 金	39	42	△ 3
	地 方 交 付 税	2,826	2,764	61
目	国 庫 支 出 金	2,323	2,334	△ 10
	繰 入 金	332	585	△ 253
目	諸 収 入	3,847	3,969	△ 122
	府 債	2,757	3,379	△ 622
歳 出 決 算 額 B		31,831	29,684	2,147
主	義 務 的 経 費	12,268	12,210	58
	人 件 費	8,235	8,340	△ 105
な	公 債 費	3,546	3,430	116
	扶 助 費	487	440	47
科	投 資 的 経 費	1,565	1,689	△ 124
	そ の 他 経 費	17,998	15,785	2,213
目	補 助 費 等	13,362	10,489	2,872
	貸 付 金	3,334	3,558	△ 224
形 式 収 支 C=A-B		124	131	△ 7
翌 年 度 繰 越 財 源 D		70	92	△ 23
実 質 収 支 C-D		54	39	15

注：形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

実質収支＝形式収支－翌年度繰越財源(翌年度繰越額から未収入特定財源を差し引いたもの)